

# はごろも

発行 平成三十年 七月三日  
 者 校長 仲村 宗男  
 校 長 七月三日  
 長 仲村 宗男

通録16号

## はごろも音楽祭を振り返って

一学期も残すところ、二十日足らずとなりました。71日間、保護者の皆様には、多くのご協力をいただきました。深く感謝申し上げます。

さて、はごろも小学校行事の二大行事として、音楽祭と運動会があります。その一つとして、6月17日に開催されましたはごろも音楽祭についてまとめましたので、紹介します。

一年生においては、入学時とは比べものにならないほど成長した「始めのあいさつ」と、演技「さんぽで歌おう」は、子どもらしさ・元気100倍を全面に出しての見事な合唱でした。

また、二年生は、「大きくなるっていうことは」のテーマを掲げ、愛らしく、曲の調べに合わせて身体表現していました。合唱とともに、鍵盤ハーモニカの指使いも大変上手でした。

群読「かえるのびよん」は、リズムカルで工夫を凝らしたユニークな表現になっていました。

三年生は、「ゆかいなはごろもっ子」をテーマに躍動的な表現をすることができました。拍の流れや発声を意識して歌った「この山光る」、ウッドストックやギロなどの打楽器を使い、リズムカルに表現した「ゆかいな牧場」や初めて学習したソプラノリコーダーによる4曲の演奏等、魅力的な発表でした。

後半のプログラムもはごろもっ子の輝く姿が観客を引きつけました。

まず、四年生は、テーマ通り「心一つ」にした合唱・合奏で発表しました。早口言葉やハンドベルとソプラノリコーダーを織り交ぜた楽曲、パフォーマンスを取り入れた表現など、会場を盛り上げていました。

五年生は「レッツ! テイク ア チャンス」のテーマのもと、演出を工夫した発表を披露しました。ソプラノリコーダーの透き通った音色、琉球音階の旋律、沖縄の楽器を活かし、5年生児童全体で作った音楽曲など、ストーリーを織り交ぜ、心を込めて力強く、迫力のある表現しました。

取りを飾る六年生は、「未来へ届け! ぼくらの想い」のテーマで、平和や夢・命に対する思いを音楽や群読で表現をしました。

名曲「翼をください」二曲目の「命の歌」の優しい調べ、最後の楽曲「八木節」では、ソプラノリコーダーや鍵盤打楽器、キーボードなどを効果的に使い、日本民謡の独得な調べを活かし、リズムに乗って最上級生らしい演奏を披露しました。

来賓として参加された方からは、「どの学年も表現の工夫が見られ、子どもたち一人一人が輝く発表会でした。」とお褒めの言葉を頂きました。

### はごろも音楽祭2018 Photo gallery



♪ 一年生 ♪



♪ 二年生 ♪



♪ 三年生 ♪



♪ 四年生 ♪



♪ 五年生 ♪



♪ 六年生 ♪



むし歯予防教室

七月 七月 七月 七月 七月 七月 七月 七月  
 二二二二二二二二  
 四三三二一六三十一三  
 日日日日日日日日  
 二二(月)土(月)金(水)火  
 七五日 校百一公深校真  
 日日 内学期休夜内志  
 個人サお休日(海)は童喜  
 面話内休日(海)は童喜  
 談大話内休日(海)は童喜  
 (四日)会話内休日(海)は童喜  
 間)予大話内休日(海)は童喜  
 三(四(九(二  
 日(六(二(日  
 間)年)日)式  
 (三(四(九(二  
 日)年)日)式  
 (三(四(九(二  
 日)年)日)式

七月・八月の行事

真志喜中学校区幼小連携事業・教育講演会



